

Green Brave

#52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

2025 年 3 月 22 日 (土)

BRIDGESTONE

SuperTaikyū

Japanese Endurance Race

ENEOS

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2024 Empowered by BRIDGESTONE 第 1 戦 Race1

もてぎスーパー耐久 4Hours Race (4 時間レース) モビリティリゾートもてぎ (栃木県茂木町)

■ 予選 1 位からスタートし、苦しみながらも 3 位表彰台を獲得 ■

Race1 決勝結果 (ST-Z クラス)

#52 埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2

(山崎 学 / 吉田広樹 / 服部尚貴 / 野中誠太)

決勝: 3 位 (114 周、4 時間 02 分 53 秒 230)

予選: 1 位 (合算タイム: 3 分 58 秒 315)



2025 年のスーパー耐久がもてぎで開幕。今年もジェントルマンドライバーの山崎選手と、GB ドライバーの吉田選手、服部選手、野中選手の 4 人が出場します。クルマはアップデートが施された、GR Supra GT4 EVO2 です。開幕戦は土曜日に Race1 の予選と決勝、日曜日に Race2 の予選と決勝が行われる 2 レース制。決勝のレース時間はどちらも 4 時間です。

土曜日の天候は晴。A ドライバーの予選は 8 時 20 分から行われ、山崎選手が 3 周目に 1 分 59 秒 828 をマーク。トップで予選を終えました。続く B ドライバーの予選は 9 時 15 分から行われ、吉田選手が 3 周目に 1 分 58 秒 487 をマーク。両ドライバーの合算タイムにより、Race1 の予選 1 位を獲得しました。GR Supra GT4 EVO2 に続くのは #25、#26 の日産 Z 勢。GR Supra GT4 EVO2 には厳しい性能調整が課されており、決勝でもこの位置関係をキープできるかどうかは未知数です。

決勝は 13 時 04 分から行われ、スタートドライバー、吉田選手がトップをキープして 1 周目を終了。予選 2 位の #25Z のペースが速く、吉田選手と

の差を徐々に詰めていきます。5 周目の 3 コーナーで吉田選手は #25Z に抜かれ、ポジションダウン。今度は予選 3 位の #26Z の追撃を受けます。なんとかポジションをキープしながら周回を続ける吉田選手ですが、22 周目、#26Z に抜かれてポジションダウン。事前の予想通りトップは 2 台の日産 Z となり、吉田選手は 3 位をキープします。4 位のクルマとは大きな差がついており、吉田選手は集中力を切らさず周回。1 時間経過後、ライバルが次々とピットインに入りますが、吉田選手はピットに入ることなく走行を続けます。41 周目、ライバルの中で最も遅いタイミングで吉田選手がピットイン。店舗メカニックが給油とタイヤ交換を行い、山崎選手が乗り込み、コースに復帰します。

山崎選手の順位は 4 位。山崎選手はプロドライバーを相手に安定感のあるペースで 4 位をキープ。54 周目には上位のトラブルにより、3 位に上がります。67 周目と 68 周目、2 台の日産 Z が相次いでピットに入ったために山崎選手はトップへ。劣勢ながら、必死のドライビングを見せます。70 周目、A ドライバーの乗車義務時間 (1 時間) をクリアした山崎選手がピットイン。服部選手に交代し、給油とタイヤ交換を終え、ピットアウトします。コースに復帰した服部選手の順位は 3 位。アンカーの野中選手を含め、最も効率良いピット戦略をとるために短いステントになる予定です。作戦通り、76 周目に服部選手がピットイン。野中選手に交代し、給油のみでピットアウトします。

コースに復帰した野中選手の順位は 4 位。表彰台を目指してペースアップを図りたい野中選手ですが、80 周目に FCY (フルコースイエロー) が導入された際、他クラスの車両が追突。これにより、車体後部を損傷し、バンパーを引きずりながら走行します。FCY が解除されたタイミングでバンパーが外れたものの、バンパー回収のために再び FCY が導入され、81 周目に解除。マフラーが垂れ下がった状態ですが、修理を指示するオレンジボール旗の掲示はなく、走行を継続。大きなペースの乱れはなく、82 周目には上位のピットインにより、3 位へ。90 周目から #25 日産 Z を追いかける展開となり、野中選手は周回を重ねる毎に差を詰めていきますが、25 秒差まで迫ったところでチェッカー。日産 Z の牙城を崩すことはできませんでしたが、目標通り、GR Supra GT4 EVO2 を使うチームのトップを獲得し、チーム力を証明しました (Race2 に続く)。



DRIVERS VOICE

山崎 学選手

見ての通りです。勝負できる状況じゃないし、レース前からこういう結果になるのはわかっていました。ここで言うことではないのですが、ちょっと公平さが欠けているという印象です。それでもドライバーはみんな無理していっぱい走りまわりました。レース中、いろいろなことがあり、反省する点もあるのですが、現状、これ以上は難しいと思います。明日はまた気持ちを切り替えていくのですが、いろいろ見直してもらわないといけないこともあります。公平な勝負がしたいですね。

吉田広樹選手

日産 Z の速さは予想していたのですが、きつかったです。速い人たちをおさえるのに一生懸命で、結局、おさえることはできませんでしたが、疲れました。もうちょっと上位をキープしたかったのですが、ペースもいっぱいだったんです。誠太が追突された、オレンジボールの旗が出され、ピットに戻ることにかなと思っていたのですが、運よくそれもありませんでした。各々反省しなければいけない点があるにせよ、底力を発揮し 3 位に入れたので、最低限のレースはできたと思います。

服部尚貴選手

いろいろあってクルマがかなり壊れてしまいました。明日もレースがあるので今夜はメカニックが大変そうです。自分が運転した時はクルマが軽いし、タイヤも新しいので調子良かったです。予選はうちがとったのですが、今年は Z が速すぎるというか、Z のラップタイムが良いです。決勝でワンツーをとられ、別の Z もすぐ後ろまで来たので、今年はスーパ勢にとっては難しい 1 年になりそうです。明日もレースがあるので、何とか表彰台の一角に入り、開幕戦を終えたいと思います。

野中誠太選手

とりあえず走りきることができて良かったです。バンパーの状況は自分の目からはわからないので、無線を通して教えてもらっていました。外れてくれて良かったです。最後まで本当に走りきれたことが全てかなと思います。マフラーも外れかかっていたので、縁石に乗らずに、極力振動を与えず、チェッカーまで走り切ることを優先にやっていました。3 人が作ってくれた大きなギャップがあったので、ケアすることに専念できました。表彰台に乗り、ポイントをとれて良かったと思います。

ST-Z クラス Race1 決勝結果

順位	チーム	周回数
1 位	raffinee 日産 メカニックチャレンジ Z NISMO GT4 (Z NISMO GT4)	114
2 位	raffinee 日産 メカニックチャレンジ Z NISMO GT4 (Z NISMO GT4)	114
3 位	埼玉 GB GR Supra GT4 EVO2 (GR Supra GT4 EVO2)	114
4 位	シェイドレーシング GR Supra GT4 EVO2 (GR Supra GT4 EVO2)	113
5 位	Hitotsuyama Mercedes-AMG GT4 (メルセデス AMG GT4)	113
6 位	NANIWA DENSO TEAM IMPUL Z (Z NISMO GT4)	113

出走 11 台 トップ 6 まで

ST-Z クラス ポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1 位	26	TEAM ZEROONE	●
2 位	25	TEAM ZEROONE	●
3 位	52	埼玉 Green Brave	●
4 位	885	SHADE RACING	●
5 位	21	Hitotsuyama Racing	●
6 位	20	TEAM IMPUL	●

上位 6 位まで

Green Brave PARTNERS



赤城車体工業株式会社



株式会社アルシエ



株式会社エイテック



株式会社 FM NACK5



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼玉群スリーボンド株式会社



株式会社三和広告社



JU 埼玉オートオークション株式会社



株式会社西武ライオンズ



ティーズ・ワークス



株式会社デンソーソリューション



東京麒麟ビレッジサービス株式会社



トヨタホーム東京株式会社



トヨタモビリティパーツ株式会社 埼玉支社



富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社



有限会社 MY CARS



マックメカニクスツールズ株式会社



丸和工業株式会社



Mechanix Wear LLC



株式会社リバイバルマネジメント



株式会社リビコー